

看護職者の皆さま

看護職者の役割移行に関する研究  
インタビュー調査への協力をお願い

私は現在、聖路加国際大学大学院に在籍し、看護職者の役割移行について研究しています。この度、新たに役割が付いた経験をされた看護職者の皆さまにインタビューを実施したいと考えております。新たな役割に就いたことに伴う葛藤やストレスについては、注目がされているものの効果的な具体策が見いだされていません。本調査により、役割移行に伴う問題を解決するための基礎資料を得、支援の対策を提示したいと考えています。つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【調査の概要】

目的：役割移行を経験した看護職者が認識する役割移行支援について質的に探索すること

協力者：2年以内に上司あるいは組織から新たな役割を付与され、活動内容を表す名称（役割名称：看護師長、実習指導者、認定看護師、専門看護師など）を用いて活動している看護職者（看護師、保健師、助産師）

期間：2014年6月から9月

方法：1時間程度のインタビュー

場所：協力者のご希望により決定します。プライバシーの守られる個室で行います。

\*インタビューにご協力いただいた方には薄謝を進呈いたします。

【インタビューでお聞きすること】

- ・役割に関すること
- ・役割を担うようになったきっかけのこと
- ・役割を担うようになってから、これまでに経験されたこと

【倫理的配慮】

1. 研究への協力は自由意思によるもので、研究への不参加によって不利益を受けることはありません。
2. 研究への協力はいつでも中止することができ、中止による不利益を受けることは一切ありません。研究の途中であっても、「研究協力断わり書」を提示すれば、理由を問われることなく、いつでも中止することができます。
3. インタビューでお話いただいた内容は、個人名や施設名など個人が特定されないように処理を行い、十分注意を払います。同意していただける場合には、インタビューの内容をICレコーダーに録音いたします。その際にも、いつでも録音を中止することができます。
4. 研究への協力により、自らの経験を整理し振り返ることができます。一方で、思い出したくないことを思い出す可能性があります。インタビューでは、話したい内容だけを話すことができます。
5. 本研究の結果は、関連する学術雑誌等で発表しますが、その場合も個人や施設など皆さまが特定されることはありません。
6. インタビューの内容は、公表後の問い合わせを予測して3年間厳重に保管しますが、その後は速やかに適切に処理を行います。

\*この研究は、聖路加国際大学倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。（承認番号14-007）

以上をお読みいただき、インタビューにご協力いただける方は、メールにて連絡くださるようお願いいたします。なお、ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記へお問い合わせください。

<連絡先>

研究者：上田貴子

連絡先 Email：13dn002-ts@slcn.ac.jp

所属機関：聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程

所属機関住所：東京都中央区明石町10-1 聖路加国際大学

所属機関電話：03-3543-6391（代表）

指導教員：松谷美和子（聖路加国際大学 看護教育学教授）

○病院  
看護部長 ○殿

### 研究の説明書

私は現在、聖路加国際大学大学院に在籍し、看護職者の役割移行について研究しております。この度、「看護職者の役割移行に関する研究」を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

研究の目的と意義：本研究の目的は、役割移行を経験した看護職者が認識する役割移行支援について明らかにすることです。役割移行に伴う看護職者の葛藤やストレスについては、予てより問題視されてきましたが、効果的な対策へとつなげられていません。本調査により得られた結果は、役割移行に伴う問題を解決するための基礎資料となります。

研究の方法と手順：新たな役割（職務や活動内容）に就いてから2年以内の看護職者（看護師、保健師、助産師）を対象に、インタビューガイドを用いて半構成的インタビューを行います。1回約1時間です。インタビューでお話いただいた内容は、後ほど逐語録を作成し、質的記述的に分析します。

協力依頼内容：2年以内に新たな役割に就き、活動内容を表す名称（役割名称：看護師長、実習指導者、認定看護師、専門看護師など）を用いて活動している看護職者の方に、1時間程度のインタビューに協力していただくことです。  
インタビューでは、以下のことをお聞きします。

- ・役割に関すること
- ・役割を担うようになったきっかけのこと
- ・役割を担うようになってから、これまでに経験されたこと

#### 倫理的配慮：

1. 研究への協力は自由意思によるもので、研究への不参加によって不利益を受けることはありません。
2. 研究への協力はいつでも中止することができ、中止による不利益を受けることは一切ありません。  
研究の途中であっても、「研究協力断わり書」を提示すれば、理由を問われることなく、いつでも中止することができます。
3. インタビューでお話いただいた内容は、個人名や施設名など個人が特定されないように処理を行い、十分注意を払います。同意していただける場合には、インタビューの内容をICレコーダーに録音いたします。その際にも、いつでも録音を中止することができます。
4. 研究への協力により、自らの経験を整理し振り返ることができます。一方で、思い出したくないことを思い出す可能性があります。インタビューでは、話したい内容だけを話すことができます。
5. 本研究の結果は、関連する学術雑誌等で発表しますが、その場合も個人や施設など皆さまが特定されることはありません。
6. インタビューの内容は、公表後の問い合わせを予測して3年間厳重に保管しますが、その後は速やかに適切に処理を行います。

\*この研究は、聖路加国際大学倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。（承認番号 14-007）

本研究についてご質問がありましたら、いつでもお問い合わせください。

#### <連絡先>

研究者：上田貴子

連絡先 Email：13dn002-ts@slcn.ac.jp

所属機関：聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程

所属機関住所：東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

所属機関電話：03-3543-6391（代表）

指導教員：松谷美和子（聖路加国際大学 看護教育学教授）

聖路加国際大学  
学長 井部俊子 殿

看護職者の役割移行に関する研究  
研究協力への同意書

1. 私が協力する調査は、役割移行を経験した看護職者が認識する役割移行支援について質的に探索することを目的として行われています。調査に協力する期間は2014年6月から9月までで、協力する調査はインタビュー（約1時間、1回）です。
2. インタビューへの協力は私の自由意思によるもので、強制されるものではありません。インタビュー協力の中止および不参加によって、私に不利益が起こることは一切ありません。いつでも研究への協力を中止することができます。その際は、添付の封筒を使用して研究協力断り書を郵送するとデータの消去等が適切に行われます。インタビュー中に中止する場合は、その旨を口頭で伝えるか、断り状を提示すれば、すぐに中止できます。
3. インタビューで話した内容は、個人名や組織名など個人が特定されないような処理が適切に行われます。私が同意すると、インタビューの内容はICレコーダーに録音されますが、いつでも録音を中止することができます。
4. 研究への協力により、自らの経験を整理し振り返ることができます。一方で、思い出したくないことを思い出す可能性があります。インタビューでは、話したい内容だけを話すことができます。
5. 協力する調査は、関連する学術雑誌等で発表されますが、その場合も個人や施設などが特定されることは一切ありません。
6. インタビューの内容は、公表後の問い合わせのために3年間厳重に保管され、その後は速やかに適切に処理されます。

---

私は、この調査について、以上のような説明を受け理解しましたので、この研究に参加することに同意します。

日付：2014年    月    日

研究対象者氏名（署名）： \_\_\_\_\_

説明者（署名）： \_\_\_\_\_

聖路加国際大学

学長 井部俊子 殿

## 研究協力断わり書

私は「看護職者の役割移行に関する研究」についての研究協力に同意しましたが、  
この度、協力を中止することにしましたので、通知します。

日付：2014年      月      日

氏名（署名）： \_\_\_\_\_

\*役割とは、上司や組織から与えられた**職務**や**特定の活動内容**のことです。

以下は、役割を担っておられる看護職者の例です。

看護師長，教育担当者，実習指導者，感染管理者，認定看護師，専門看護師など

## I 役割に関することをいくつか教えてください。

### 基礎情報：役割に関すること

問1 以前の役割：以前はどのような役割を担っておられましたか。

なし（スタッフ看護師）・副看護師長・実地指導者・（ ）

問2 現在の役割：現在はどのような役割を担っておられますか。

看護師長・副看護師長・教育担当者・実習指導者・（ ）認定看護師・（ ）専門看護師・

問3 活動領域：活動する場所はどこですか。どのような活動（活動の内容）ですか。

病棟（一般・ ）・外来・看護部・

問4 役割に関する文書（定義書，基準書，手順書など）がありますか。

1 ある 2 ない

問5 役割付与の話を聞いてから役割開始（着任）までの日数はどのくらいでしたか。

約1か月 日

（次のページに続きます）

## Ⅱ 役割を担うようになったきっかけについてお聞きします。

### 役割移行準備：役割移行に入る前の準備に関すること

- 役割を意識し始めたときのことをお話しください。  
—それは、いつごろでしたか。きっかけとなる出来事など、ありましたか。
- 役割を引き受けようと決心したときのことをお話しください。  
—それは、いつごろでしたか。きっかけとなる出来事など、ありましたか。
- 役割を引き受け受けたときのことをお話しください。  
—そのとき、どのようなことを考えていましたか（頭に浮かんだことなど）。

## Ⅲ 役割を担うようになってから、これまでに経験されたことをお聞きします。

### 役割移行支援：役割移行の支援に関すること

- 役割を担う上で、助けになったことはありますか。  
—それは、どのようなことですか。
- 役割を担う上で、助けにならなかったことはありますか。  
—それは、どのようなことですか。
- 役割を担うようになってから、戸惑ったり困ったりしたことはありますか。  
—それは、どのようなことですか。
- そのことを解決するために、取り組まれたことはありますか。  
—それは、どのようなことですか。
- また、その時に、何らかの支援がありましたか。  
—それは、どのような支援ですか。
- この役割を上手く果たせるように、取り組まれたことはありますか。  
—それは、どのようなことですか。

### 役割移行経験：役割移行の経験に関すること

- この役割を経験したことは、今後の職業活動にどのように関係すると思われますか。
- この役割を経験したことは、あなたにとってどのような意味がありますか。

これで質問は終わりです。ありがとうございました。

平成 30 年 5 月 18 日

看護管理責任者 様

「新任看護管理者の役割移行」に関する研究  
アンケート調査へのご協力をお願い

緑樹の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は現在、聖路加国際大学大学院に在籍し、新任看護管理者の役割移行について研究しております。  
この度、新任看護師長を対象とする質問紙調査を行いたいと考えております。

ご多用の折、誠に恐れ入りますが、本研究の概要をご覧ください、研究への参加についてご検討くださいますようお願いいたします。

研究の目的と意義：本研究は、新任看護管理者の役割移行を支援するための示唆を得ることを目的として  
おります。新たな役割への移行経験は、看護職者の職業活動に変化をもたらし、時には職業活動の継続を困難へと導く可能性があります。本研究の成果は、この困難な状況を回避し、新たな役割への適応を支援するためのプログラム開発や組織の人材育成に資するものとなります。

研究の方法と手順：全国の病院に就業し、研究開始前年度（2017 年度）に看護単位の責任者に就任した  
看護師長（あるいはこれに準ずる職位）の皆様を対象とし、無記名自己記入式質問紙調査を行います。調査結果から、新任看護師長の役割遂行力、役割取得、役割移行期間と役割移行支援、個人属性との関連について分析します。

協力依頼内容：研究協力の諾否について、同封の返信用はがきに必要な事項をご記入の上、個人情報保護  
シールを貼付し、5 月 28 日（月）までに投函くださいますようお願いいたします。返信用はがきには、ご協力いただける看護職者数（部数）をご記入くださいますようお願いいたします。ご回答いただいた返送はがきに基づき、ご指定の送付先に必要数の調査票一式をお送りいたしますので、調査票を看護職者の皆様に配付してください。個人情報保護のため、調査対象者の方には無記名で質問紙に回答いただき、終了後各自封筒に入れ、返送いただきます。

倫理的配慮

- ❖ 研究への協力は自由意思によるものです。調査票の表紙に記載された「□ この研究への協力・参加に同意します」欄への✓（チェック）をもちまして研究への同意とみなします。調査票返送まではいつでも研究協力を撤回することができます。ただし、調査票返送後は、個人を特定できないため、研究協力への同意の撤回に応じることはできません。
- ❖ 調査票には無記名でご記入いただき、各自返送いただきます。調査票の内容は匿名化し、電子データとして扱い、パスワード管理します。調査票および電子媒体は、施錠した保管庫で厳重に管理します。
- ❖ 調査票への回答には 20 分程度を要するためご負担をおかけしますが、研究への協力により、自らの職業活動を整理し振り返ることができます。
- ❖ この研究は、博士論文としてまとめ、研究結果は学会や関連する学術雑誌等で発表します。公表に際しては、個人や施設など皆さまが特定されることはありません。
- ❖ データは、公表後の問い合わせを予測して 3 年間厳重に保管しますが、その後は速やかに適切に処理を行います。
- ❖ この研究は、聖路加国際大学倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。（承認番号 18-A001）

本研究についてご質問がありましたら、いつでもお問い合わせください。

<連絡先>	研究者	上田貴子
	連絡先 Email	<a href="mailto:13dn002-ts@slcn.ac.jp">13dn002-ts@slcn.ac.jp</a>
	所属機関	聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程
	所属機関住所	東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学
	所属機関電話	03-3543-6391（代表）
	指導教員	小山田恭子（聖路加国際大学 看護教育学教授）

郵便はがき

104-0044

東京都中央区明石町 10-1  
聖路加国際大学

「新任看護管理者の役割移行」に関する調査

博士後期課程 看護教育学専攻  
上田 貴子 行

13DN002

新任看護管理者の役割移行に関する調査

本調査へのご協力の可否について、A・Bいずれかに○をつけてください。

A. 協力可 ➡ 返送先の詳細をご記入ください。

B. 協力不可 ➡ 個人情報保護シールを貼付の上ご返送ください。

<返送先>

1. ご施設名	
2. ご住所	〒      ー
3. ご担当者名	フリガナ .....
4. 電話番号またはメールアドレス	
電 話: .....	
メー ル: .....@.....	
5. 調査実施部	部

ご記入ありがとうございました。個人情報保護シールを貼付の上、  
2018年5月28日(月)までに ご返送ください。



平成 30 年 6 月 1 日

看護管理責任者 様

「新任看護管理者の役割移行」に関する研究  
アンケート調査へのご協力をお願い

向暑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は現在、聖路加国際大学大学院に在籍し、新任看護管理者の役割移行について研究しております。

この度は、本研究への協力依頼をご快諾くださり、ありがとうございます。調査票を同封いたしておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

記

研究の目的と意義：本研究は、新任看護管理者の役割移行を支援するための示唆を得ることを目的としております。新たな役割への移行経験は、看護職者の職業活動に変化をもたらし、時には職業活動の継続を困難へと導く可能性があります。本研究の成果は、この困難な状況を回避し、新たな役割への適応を支援するためのプログラム開発や組織の人材育成に資するものとなります。

研究の方法と手順：全国の病院に就業し、研究開始前年度（2017 年度）に看護単位の責任者に就任した看護師長（あるいはこれに準ずる職位）の皆様を対象とし、無記名自己記入式質問紙調査を行います。調査結果から、新任看護師長の役割遂行力、役割取得、役割移行期間と役割移行支援、個人属性受容、役割移行支援との関連について分析します。

協力依頼内容：研究開始前年度（2017 年度）に看護師長（あるいはこれに準ずる職位）に就任した皆様へ調査票一式を配付してください。個人情報保護のため、調査対象者の方には無記名で質問紙に回答いただき、終了後各自封筒に入れ、返送いただきます。

倫理的配慮

- ❖ 研究への協力は自由意思によるものです。調査票の表紙に記載された「□ この研究への協力・参加に同意します」欄への✓（チェック）をもちまして研究への同意とみなします。調査票返送まではいつでも研究協力を撤回することができます。ただし、調査票返送後は、個人を特定できないため、研究協力への同意の撤回に応じることはできません。
- ❖ 調査票には無記名でご記入いただき、各自返送いただきます。調査票の内容は匿名化し、電子データとして扱い、パスワード管理します。調査票および電子媒体は、施錠した保管庫で厳重に管理します。
- ❖ 調査票への回答には 20 分程度を要するためご負担をおかけしますが、研究への協力により、自らの職業活動を整理し振り返ることができます。
- ❖ この研究は、博士論文としてまとめ、研究結果は学会や関連する学術雑誌等で発表します。公表に際しては、個人や施設など皆さまが特定されることはありません。
- ❖ データは、公表後の問い合わせを予測して 3 年間厳重に保管しますが、その後は速やかに適切に処理を行います。
- ❖ この研究は、聖路加国際大学倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。（承認番号 18-A001）

本研究についてご質問がありましたら、いつでもお問い合わせください。

<連絡先>	研究者	上田貴子
	連絡先 Email	<a href="mailto:13dn002-ts@slcn.ac.jp">13dn002-ts@slcn.ac.jp</a>
	所属機関	聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程
	所属機関住所	東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学
	所属機関電話	03-3543-6391（代表）
	指導教員	小山田恭子（聖路加国際大学 看護教育学教授）

## 「新任看護管理者の役割移行」に関する研究

### ご協力のお願い

私は現在、聖路加国際大学大学院に在籍し、新任看護管理者の役割移行について研究しています。この度、研究開始前年度（2017 年度）に看護単位の責任者に就任した看護師長（あるいはこれに準ずる職位）を対象とする自己記入式質問紙調査を実施したいと考えています。新たな役割に就くことにより発生する様々の問題、これに由来する葛藤やストレスといった状況について、現在効果的な対策は施されていません。本調査により、役割移行に伴う問題を解決するための基礎資料を得て、支援に向けた具体策を提示したいと考えています。つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### <お願いしたい内容>

① 質問紙にご回答いただき、②同封の返信用封筒にてご返送、いただくことです。

なお、質問紙を受け取った場合でも、研究へのご協力は個人の自由です。調査票の表紙に記載された「☐ この研究への協力・参加に同意します」欄への✓（チェック）をもちまして研究への同意とみなします。調査票返送まではいつでも研究協力を撤回することができます。ただし、調査票返送後は個人を特定できないため、研究参加同意の撤回に応じることはできません。ご了承ください。

#### <手順>

質問紙に無記名で回答していただき、各自、返送用封筒に入れ封をし、6月22日（金）までに、返送くださいますようお願い申し上げます。記入の所要時間は、20分程度を予定しております。

研究へのご協力に際し、以下のことについてお約束いたします。

- ❖ 調査票の内容は匿名化し、電子データとして扱い、パスワード管理します。調査票および電子媒体は、施錠した保管庫で厳重に管理します。
- ❖ 所属される施設に個人のデータを伝えることはありません。また、病院単位で分析することはありません。
- ❖ 記載していただいた内容は、研究以外の目的で使用することはありません。
- ❖ 皆さまの実践を批判したり、評価するものではありません。
- ❖ この研究は、博士論文としてまとめ、研究結果については学会や関連学術誌に発表する予定です。公表に際しては、ご協力くださった皆さまが特定されるような記載はいたしません。
- ❖ 調査票の内容は、公表後の問い合わせのために 3 年間厳重に保管しますが、その後は速やかに適切に処理します。

\*この研究は、聖路加国際大学倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。（承認番号 18-A001）

ご不明な点がありましたら、遠慮なく下記へお問い合わせください。

<連絡先>	研究者	上田貴子
	連絡先 Email	<a href="mailto:13dn002-ts@slcn.ac.jp">13dn002-ts@slcn.ac.jp</a>
	所属機関	聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程
	所属機関住所	東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学
	所属機関電話	03-3543-6391（代表）
	指導教員	小山田恭子（聖路加国際大学 看護教育学教授）

❖ はじめにお読みください

「新任看護管理者の役割移行」に関する研究  
研究協力への同意書

- 私が協力する調査は、新任看護管理者の役割移行に関する質問紙調査です。  
調査票への回答には20分程度を要すると理解しています。
- 調査への協力は私の自由意思によるもので強制されたものではありません。  
調査票返送まではいつでも研究協力を撤回することができますが、返送後は  
個人を特定できないため、研究協力への同意の撤回はできなくなります。  
調査票には無記名で記入し、添付の封筒にて直接返送します。
- 調査票の内容は匿名化され、電子データとして取り扱われ、パスワード管理  
されます。調査票および電子媒体は、施錠した保管庫で厳重に管理されます。
- 研究への協力により、自らの職業活動を整理し振り返ることができます。
- 協力する調査は、関連する学術雑誌等で発表されますが、その場合も個人や  
施設などが特定されることはありません。
- 調査票の内容は、公表後の問い合わせのために3年間厳重に保管されること、  
その後は速やかに適切に処理されることを理解しています。

私は、この調査について、上記の説明文を読み理解しましたので、

☐

この研究への参加・協力に同意します

(同意いただける場合には、上記のチェックボックスに✓を入れてください)

注意：チェックボックスに✓チェックのないものは、無効となります。

## 「新任看護管理者の役割移行」についての調査

### 職場と役割に関すること

以下の質問について、お答えください。選択項目については、あてはまる番号に○印をつけてください。

#### あなたの役割について

- 問1 現在の職位
1. 看護師長
2. その他
- 問2 現在の役割での経験年数  年  か月
- 問3 主な活動場所（部署）
1. 病棟 2. 外来 3. 看護部 4. その他
- 問4 直前の職位
1. 看護管理者以外 2. 副看護師長／看護係長 3. 主任／看護師長補佐
- \* 近いところ
4. その他
- 問5 役割移行に伴う  
所属先の変更の有無
1. 有
2. 無

#### 役割移行の準備について

- 問6 役割定義書（役割に関する業務内容が記載されているもの）の有無
- 「有」の方は、その内容について、あてはまる項目に✓を入れてください。（複数選択）

1. 有

2. 無

- ☐ ① 部署に特有の業務内容が具体的に記載されている
- ☐ ② 有用な情報を含む活用性の高い内容が記載されている
- ☐ ③ 組織の職務規定に沿った一般的な業務内容が記載されている
- ☐ ④ 管理職の職務について、組織内共通の内容が記載されている
- ☐ ⑤ その他

- 問7 報酬の有無
1. 有：給料が上がった
2. 有：給料が下がった
3. 無：給料は変わらなかった

- 問8 役割移行に伴う準備のことをお聞きます。以下について、あてはまる項目に✓を入れてください。

- 1 管理職を引き受けた経緯  
（受諾の経緯）
- ☐ ① 自らの意思であった
- ☐ ② 自らの意思ではなかった
- ☐ ③ 引き受けざるを得ない状況にあった

2	管理職を引き受ける準備	<input type="checkbox"/> ④ 管理職への昇進を予期していた
		<input type="checkbox"/> ⑤ 管理職への昇進は予期していなかった
		<input type="checkbox"/> ⑥ 管理職への昇進の機会を待っていた
3	管理職を引き受ける準備状態 (レディネス)	<input type="checkbox"/> ⑦ 看護管理に関する知識があり、うまくやり遂げる自信があった
		<input type="checkbox"/> ⑧ 看護管理に関する知識はあったが、うまくやり遂げる自信はなかった
		<input type="checkbox"/> ⑨ 看護管理に関する知識は少なかったが、うまくやり遂げる自信があった
		<input type="checkbox"/> ⑩ 看護管理に関する知識が少なく、うまくやり遂げる自信はなかった
		<input type="checkbox"/> ⑪ 看護管理の経験があり、うまくやり遂げる自信があった
		<input type="checkbox"/> ⑫ 看護管理の経験はあったが、うまくやり遂げる自信はなかった
		<input type="checkbox"/> ⑬ 看護管理の経験は少なかったが、うまくやり遂げる自信があった
		<input type="checkbox"/> ⑭ 看護管理の経験が少なく、うまくやり遂げる自信はなかった

### 所属する組織の特性について

問9	あなたが勤務する職場の特性について、あなたが同意すると思う程度をお聞きます。	そ う 常 思 に う	そ か う な 思 り う	そ わ り 思 と う	そ や う 思 う	該 当 な し
	以下について、あてはまるところの数字を○で囲んでください。					
1	看護部長は、看護師にとって目に見える、相談しやすい存在である	5	4	3	2	1
2	看護部長は、病院の他のトップレベルの幹部と、権力や権限において同等である	5	4	3	2	1
3	上手くできた仕事は、称賛され認められる	5	4	3	2	1
4	管理職以外の看護師にも、病院の方針決定（必要な備品の選択など）に参加する機会がある	5	4	3	2	1
5	昇進の機会がある	5	4	3	2	1

## 役割移行の支援に関すること

### 役割前研修について

問10 管理研修等の受講の有無について、お聞きます。

「有」の方は、管理研修等について、あてはまる項目に✓を入れてください。（複数選択）

1. 有



2. 無

- |   |      |
|---|------|
| <input type="checkbox"/> ① 院内管理者研修（これに準ずる施設内研修）   |      |
| <input type="checkbox"/> ② 外部マネジメント研修（これに準ずる外部研修） |      |
| <input type="checkbox"/> ③ 認定看護管理者研修ファーストレベル      |      |
| <input type="checkbox"/> ④ 認定看護管理者研修セカンドレベル       |      |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 認定看護管理者研修サードレベル        |      |
| <input type="checkbox"/> ⑥ 大学院修士課程：領域             | 具体的に |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 大学院博士課程：領域             | 具体的に |
| <input type="checkbox"/> ⑧ その他                    | 具体的に |

役割移行の支援について									
問11	あなたの活動を支援するために準備されている資源には、どのようなものがありますか。 以下について、あてはまる方に✓を入れてください。				ある	ない			
1	施設内で開催される新任管理者対象のガイダンスや教育プログラムなど				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
2	施設外で開催される新任管理者対象の研修など（例：看護協会主催の管理者研修など）				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3	新任管理者向けの業務手順書やマニュアルなど				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4	看護管理や経営に関する専門書を所蔵する図書館				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
5	医学中央雑誌Web（有料サイト）などの活用可能なインターネット環境（施設内）				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
6	管理者共通サイトへのアクセス権限				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
7	看護師長会や新任管理者会議など、同僚に相談できる機会				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
8	所属する部署・部門の枠を超えて（横断的に）相談できる部署・部門				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
9	利用可能なメンター制度				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
10	外部支援者（臨床心理士、カウンセラーなど）のサービスを利用できる制度				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
11	上記以外	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 450px;"></div>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
役割移行の支援および資源の活用について									
問12	あなたの活動を支援する資源について、助けになった・役にたった、と思う程度についてお聞きます。 以下について、あてはまるところの数字を○で囲んでください。				そ 非 常 に う	そ か う な 思 い う	そ わ う り 思 い う	そ や う り 思 い う	該 当 な し
1	施設内で開催される新任管理者対象のガイダンスや教育プログラムなど				5	4	3	2	1
2	施設外で開催される新任管理者対象の研修など（例：看護協会主催の管理者研修など）				5	4	3	2	1
3	新任管理者向けの業務手順書やマニュアルなど				5	4	3	2	1
4	看護管理や経営に関する専門書を所蔵する図書館				5	4	3	2	1
5	医学中央雑誌Web（有料サイト）などの活用可能なインターネット環境（施設内）				5	4	3	2	1
6	管理者共通サイト				5	4	3	2	1
7	看護師長会や新任管理者会議など、同僚に相談できる機会				5	4	3	2	1
8	所属する部署・部門の枠を超えて（横断的に）相談できる部署・部門				5	4	3	2	1
9	利用可能なメンター制度				5	4	3	2	1
10	外部支援者（臨床心理士、カウンセラーなど）のサービスを利用できる制度				5	4	3	2	1
11	同じ職位に就き、悩みを打ち明けられる同僚（相談できる同僚）の存在				5	4	3	2	1
12	同じ職位に就き、悩みを打ち明けられる施設外の友人（相談できる友人）の存在				5	4	3	2	1
13	悩みを打ち明けられる出身教育機関の先生（相談できる恩師）の存在				5	4	3	2	1
14	気心の知れた仲間の集まる勉強会や集まり				5	4	3	2	1
15	なんでも聞ける前任者の存在				5	4	3	2	1
16	困ったことや相談ごとを打ち明けられる上司の存在				5	4	3	2	1
17	なんでも打ち明けられる家族や友人など身近な存在				5	4	3	2	1

職業経験に関すること		よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
問13	以下の文を読んで、あなたはそれらの意見についてどのように思いますか。 あてはまるところの数字を○で囲んでください。  *助産師、保健師の方は「看護師」を「助産師」「保健師」に読み替えてください。					
1	看護に役立つ情報を積極的に収集するようにしている	4	3	2	1	0
2	看護師生活の設計は自分にとって重要な問題なので真剣に考えている	4	3	2	1	0
3	どのように働くべきかということとはあまり気にならない	4	3	2	1	0
4	どうすれば看護師生活をよりよく送れるのか考えたことがある	4	3	2	1	0
5	自分の職業生活を主体的に送っている	4	3	2	1	0
6	働いてもつまらないと思うことがしばしばある	4	3	2	1	0
7	自分から進んでどんな看護師生活を送っていくのかを決めている	4	3	2	1	0
8	これからの看護師生活を通してさらに自分自身を伸ばし高めていきたい	4	3	2	1	0
9	これからの看護師生活について自分なりの見通しをもっている	4	3	2	1	0
10	これからの看護師生活で取り組んでみたいことがいくつかある	4	3	2	1	0
11	これからの看護師生活で何を目標とすべきかわからない	4	3	2	1	0
12	自分が期待しているような看護師生活をこの先実現できそうである	4	3	2	1	0

看護管理実践に関すること		実十分にしている	実践している	実践している	実践していない	実践していない
問14	以下は、看護管理実践の内容を表しています。これらについて、あなたはどの程度実践していますか。あてはまるところの数字を○で囲んでください。					
1	手堅く問題を解決している	5	4	3	2	1
2	素早く問題解決をしている	5	4	3	2	1
3	迅速に解決策を策定し、問題を処理している	5	4	3	2	1
4	葛藤を恐れず問題から逃げていない	5	4	3	2	1
5	起こった問題の因果関係を探り、何が真の問題かを明確にしている	5	4	3	2	1
6	過去の事例や情に流されず、安易な解決策を出していない	5	4	3	2	1
7	怖がらずに信念をもって勇気ある決断をしている	5	4	3	2	1
8	常に達成できると信じて行動している	5	4	3	2	1
9	相手が話しやすい雰囲気をつくっている	5	4	3	2	1
10	相手の意見を否定せず尊重している	5	4	3	2	1
11	相手の話を聞くための場や時間を設けている	5	4	3	2	1
12	相手の表情の変化、身なり、体調などに関心をもっている	5	4	3	2	1
13	どの相手に対しても同じ目線で話している	5	4	3	2	1
14	相手に伝わったかどうか確認している	5	4	3	2	1
15	スタッフの声を聞き、合意をとっている	5	4	3	2	1
16	新人スタッフが職場になじむように配慮している	5	4	3	2	1

		実践 十分に している	実践 かなり している	実践 わりに している	実践 あまり していない	実践 全く していない
17	何をやればよいのかよくわかる計画を立てている	5	4	3	2	1
18	病院全体の方針を反映した計画づくりをしている	5	4	3	2	1
19	コストなどの予算の裏づけをとっている	5	4	3	2	1
20	今後の方向を明確にしている	5	4	3	2	1
21	目標達成に向けて強い意志をもっている	5	4	3	2	1
22	積極的に他の部署をまわり、自らあいさつしている	5	4	3	2	1
23	よく職場を歩きまわって、スタッフ・患者・家族に声をかけている	5	4	3	2	1
24	関係業務の情報や人材情報の収集活動を常にしている	5	4	3	2	1
25	実際にその場に出かけて、自分の目と耳で生の情報を収集している	5	4	3	2	1

看護管理に必要な知識や業務内容に関すること		活用 している	活用 し て い る	活用 たま に い る	活用 あ ま り な い	活用 が す な い
問15	<p>以下は、看護管理に必要な知識や業務内容に関する項目です。 各項目について、あなたはどのくらい実践に活用していますか。</p> <p>あてはまるところの数字を○で囲んでください。</p>					
1	看護業務基準：業務基準	5	4	3	2	1
2	看護ケア提供システム	5	4	3	2	1
3	看護ケア計画	5	4	3	2	1
4	臨床技術	5	4	3	2	1
5	看護必要度：患者重症度システム	5	4	3	2	1
6	安全管理：感染予防	5	4	3	2	1
7	エビデンスに基づく実践	5	4	3	2	1
8	新しいテクノロジー	5	4	3	2	1
9	ケースマネジメント	5	4	3	2	1
10	情報システム	5	4	3	2	1
11	法的規制：監督機関の基準	5	4	3	2	1
12	効果的コミュニケーション	5	4	3	2	1
13	効果的なスタッフ配置方略：人員配置（スタッフィング）	5	4	3	2	1
14	スタッフ募集方略	5	4	3	2	1
15	スタッフ定着のための方略	5	4	3	2	1
16	効果的な規律：効果的なルールづくり	5	4	3	2	1
17	コーチング：相談の方略	5	4	3	2	1
18	実践の評価：クリニカル・ラダー	5	4	3	2	1
19	スタッフの人材開発方略：キャリア開発	5	4	3	2	1



		活用している	活用している	たまに活用している	あまり活用していない	活用する機会がない
20	人間関係の構築	5	4	3	2	1
21	面接技術	5	4	3	2	1
22	効果的なチーム編成	5	4	3	2	1
23	ユーモア	5	4	3	2	1
24	楽観性	5	4	3	2	1
25	看護理論	5	4	3	2	1
26	経営理論	5	4	3	2	1
27	戦略的計画	5	4	3	2	1
28	倫理的諸原則	5	4	3	2	1
29	教授－学習理論	5	4	3	2	1
30	政策の理解と提言	5	4	3	2	1
31	質とプロセスの改善：医療の質、臨床指標（Quality Indicator = QI）	5	4	3	2	1
32	法的課題	5	4	3	2	1
33	意思決定	5	4	3	2	1
34	権力と権限委譲	5	4	3	2	1
35	組織変革：変化の過程	5	4	3	2	1
36	対立の解決	5	4	3	2	1
37	問題解決	5	4	3	2	1
38	ストレス管理	5	4	3	2	1
39	研究プロセス	5	4	3	2	1
40	動機づけの方略	5	4	3	2	1
41	部署の作業と仕事の流れの組織化	5	4	3	2	1
42	方針と手順	5	4	3	2	1
43	スタッフ教育	5	4	3	2	1
44	時間管理	5	4	3	2	1
45	多職種間の調整：多職種連携（Interprofessional Work = IPW）	5	4	3	2	1
46	費用抑制	5	4	3	2	1
47	生産性向上の手段	5	4	3	2	1
48	予算の獲得	5	4	3	2	1
49	費用対効果分析	5	4	3	2	1
50	部署の予算管理手段	5	4	3	2	1
51	財務資源の獲得	5	4	3	2	1
52	財務資源のモニタリング	5	4	3	2	1

次のページへ進んでください →

## あなた自身に関すること

以下の質問について、お答えください。選択項目については、あてはまる番号に○印をつけてください。

### あなた自身のこと

問16	年齢	<input type="text"/>	歳			
問17	性別	1. 女性	2. 男性			
問18	職種 *雇用資格	1. 看護師	2. 助産師	3. 保健師		
問19	所属 *主たる所属先	1. 病棟	2. 外来	3. 看護部	4. その他	<input type="text"/>
問20	通算の経験年数	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	か月	

### 勤務する病院について



問21	勤務する病院の 所在地	1. 北海道・東北	2. 関東・甲信越	3. 東海・北陸	4. 近畿
		5. 中国・四国	6. 九州・沖縄		
問22	勤務する病院の 病床数	1. 20-99床	2. 100-149床	3. 150-199床	4. 200-299床
		5. 300-399床	6. 400-499床	7. 500床以上	

### 役割移行の期間について

問23 現在あなたは、看護管理の実践について、責任ある当事者として行えている（段階にある）、と思いますか。

「行えている」と思う方は、そう思えるようになった時点までの期間（月数）を、

「まだ早い」と思う方は、就任から現時点までの期間（月数）を、ご記入ください。

1. 「行えている」と思う		就任から、そう思えるようになった時点までの期間	<input type="text"/>	か月
2. 「まだ早い」と思う		就任から、現時点までの期間	<input type="text"/>	か月

アンケートは、以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。

以下のアンケートの提出方法に沿って、ご返送ください。

- ① 表紙の「☐ この研究への協力・参加に同意します」欄に、  
✓チェックが付いていることを確認ください
- ② 調査票を三つ折りにして、返信用封筒に入れてください  
\* 住所・氏名のご記入は不要です
- ③ テープを剥がして封緘してください \* 切手貼付は不要です
- ④ お近くのポストに投函ください